

前週例会（9月25日）レポート

会長報告

○今日は地球保全委員会の担当で移動例会として高松パブリック、石橋さんの所にお世話になります。例会の間、自然とか地球保全の事を1時間、考えていただけたらと思います。

地球保全委員会報告

○高松パブリックは高松の環境に対して非常に貢献していると思います。
委員会で話し合い、地球保全委員会ではこの移動例会は良いものになるのではないかと考えております。

移動例会「高松パブリック」

○「高松パブリック視察」 地球保全委員会 副委員長 石橋 治君

この高松パブリックは昔、塩田で塩を作っておりました。

40年前当時の塩をご覧ください。

このコースは昭和49年に開場し、その時にゴルフ同好会から頂いた絵画と名盤を戴きました。このゴルフ場に様々な木を植樹して40年も経ちますと動植物にとっては一つの里山になっているように感じます。ただ、このゴルフ場には他のゴルフ場と違ってイノシシとモグラは居ません。

ロータリークラブもよくボランティアで植樹をしますが、植樹をする場合アフターケアに手がからない植物を植樹される事をお勧めいたします。（松の木、楠）

高松パブリックは一周、約2km弱です。時間が許される方は歩いて自然を満喫していただけたらと思います。



誰に話してもすべらない雑学 ▶▶▶ 日本の自動販売機の高さが183センチになった事情とは？

意外に気づいている人は少ないようだが、自動販売機の高さは2種類しかない。日本では、高さを183cmか200.7cmのどちらかにするように決められているのだ。そのうちでは、183cmのものが圧倒的に多い。これは日本的な事情による。当初、日本はいろいろな高さの自動販売機をアメリカから輸入していたが、時代を経て残り、基準となったのが72インチ（183cm）だったのだ。183cmなら、日本家屋の軒下におさまるが、これよりも高いとおさまりきらないケースがでてくるため、183cmの自動販売機が歓迎され、圧倒的な主流商品となったのである。ただ、高さは決まっても、自動販売機の奥行きや幅は自由。また、お金の入れ口や取りだし口の位置は、各社の工夫の見せどころである。なお、色については、住民や自治体から景観との調和が求められている地域では、景観を損なわないような色の使用が求められている。